第 8 回岩出市公共下水道事業運営審議会
議事概要

1. 日 時 平成18年11月28日(火) 13:30~16:00
2. 場 所 岩出市中央公民館 第1会議室
3. 出席者 会長他委員8名(欠席2)、事務局3名
4. 議 題

- (1) 前回議事概要の報告
- (2) 前回請求資料の提出と説明
- (3) 岩出市公共下水道使用料算定の方針(前回の続き)
- (4) その他

5. 会議形式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開 会
事業部次長 挨 拶
会 長 挨 拶

- (1) 前回議事概要の報告

前回議事概要について、事務局から報告する。(資料1)

- (2) 前回請求資料の提出と説明

前回の審議会で請求のあった資料について、事務局から説明する。

- ・標準下水道条例、和歌山市・橋本市・泉南市下水道条例(資料2)
- ・バランスシート(資料3)

- (3) 岩出市公共下水道使用料算定の方針

岩出市公共下水道使用料算定の方針について、前回の審議会で意見が一致した2項目(使用料算定の対象期間は5年間とする。財政計画の見直しは必要ない。)を確認し、審議できなかった項目について、事務局から再度説明し審議を行う。(資料4)

8. 主な意見・質疑応答

質 疑

起債の償還が、市民にかかってくるが、そのピークはどれくらいになるのか。また、その分税金が上がってくるのか。

事 務 局

市の財源で賄えない実質赤字額は、平成42年度がピークで747百万円です。税金が上がるか他のサービスが低下することになるかと思えます。

意 見

運営コスト削減ばかり考えると、粗悪な工事をされるといけないので、適正な工事費で手抜きのないよう管理するようにしていただきたい。

質 疑

(5) の民間委託の推進における指定管理者制度とはどういうことか。

事務局

指定管理者制度は、公の施設の管理に一定の範囲を決めて、民間業者やNPOなどと契約を結び管理運営を任せることで、民間企業のノウハウやNPOの組織力を生かし、役所で管理運営するよりコストを安くあげて行くということを考えなければならないと思います。

意 見

- ・千里ニュータウンが、30年経過して現在少子高齢化で2～3人の世帯が多く苦勞している。岩出市がベッドタウンだとすれば、20年後にどんなまちになるかを考えておく必要がある。
- ・将来のことを十分考えて、料金を設定しなければならない。
- ・まず、基本使用料を決めると収入の目途が立ちやすいと思う。
- ・水は、自然の恵みであり無駄使いは、許されない。水資源にも限りがあるので、節水という面も考えた方がいいのではないか。
- ・基本使用料を決めて、それから使用水量に応じて加算して行く体系を取るのが一番いいと思うが、その基本をどこに置くのが問題で、一人暮らしの住宅と多人数の住宅とでは不公平が生じることもあるので、それらも加味して考える必要がある。
- ・住民は、他の市町村と料金を比較するとき基本料金をみる。
- ・基本使用料を固定し、累進使用料をうまく組み合わせていくという方法で考えてはどうか。
- ・近所で聞くと水道料金と同じくらいが望ましいという意見が多い。
- ・岩出市の水道料金は、付近の自治体と比べて安い。
- ・水道と同じ料金では、難しいと思う。
- ・紀の川市など近隣市町村を見ながら、料金をいただける範囲で決めてはどうか。
- ・紀の川市と同じくらいの金額がいいと思う。
- ・紀の川市と料金に差がつくのはおかしい。
- ・住民の皆さんに下水道に加入していただいて、使用してもらえる料金体系にするといいが、大変難しい。安くすればいい、高くすればいいというものでない。
- ・住民の皆さんが、喜んで下水道を利用してもらえる料金にする必要があるが、安くしすぎると借金が膨らんでくるので難しい。
- ・財政破綻できないので、市民にもある程度負担してもらわないといけない。

事務局

集中処理浄化槽と比較の問題や近隣自治体、水道料金などを考慮して、住民にアピールできる金額案を次回の審議会に出したいと思っています。

会 長

- ・基本使用料と累進使用料について、はっきりした理由を付けにくいので、近隣市町村の状況や具体的な例を参考に案を出して頂いて議論して行きたい。
- ・「汚水排出量の認定と減量制度」、「減免制度の検討」については、次回で審議する。
- ・次回は、具体的な料金案に基づいて審議したい。

9. 次回日程

平成19年1月16日(火) 午後1時30分より

10. 問い合わせ先 事業部 下水道課 電話番号 (62) 2141 内線 333